

令和元年12月3日

## 朝礼の話

今日、表彰された4名は、地域行事やボランティア活動もよく頑張ってくれていますが、9月に行われた吹奏楽部定期演奏会で、移動に困っている車椅子の高齢者に進んで介助のお手伝いをしたということで備前警察署から善行少年表彰をいただいたものです。実は、このことは、吹奏楽部の定期演奏会に行っていた人が見つけ、わざわざ学校に電話をかけてきてくれたことからわかりました。先生もとてもいい気持ちになりました。

もう一つ、みなさんは朝、校門周辺がきれいになっていることに気づいているでしょうか。3年生の有志の人が、落ち葉が落ちているのに気づき、朝みんなの登校にあわせて落ち葉を掃き集めてくれています。これも、誰が言ったわけでもありません。誰かが褒めてくれるわけでもありませんが、自分たちで気づき、率先してボランティア活動をしてくれています。とても素晴らしいことです。

人は、お小遣いがもらえるから手伝いをするとか、褒めてもらえるから何かをすることがよくあると思います。でも、見返りを求めるのではなく、自分たちの自然な行動からこのように人に親切にできたり、役に立つことができるというのは素晴らしいことだと思います。

最近、伊里中学校が様々なところで話題になっているという話をしました。先日は、小学校でのスマホの出前授業がNHKと雛ビジョンで話題になりました。このときもわざわざ先生の知り合いが電話をかけてきてくれて、「先生は伊里中学校だったよな！テレビに生徒が映ったよ！」と行ってきてくれました。

「伊里中学校＝地域貢献ができる、生徒が素晴らしい」といってもらえるまであと一息です。伊里中ブランドは、もうほとんどできあがっています。「プロジェクトI」…「挨拶」「校歌」「論語の朗唱」「ボランティア」を意識し、みんなの行いの積み重ねで、「伊里中」のイメージは、「地域貢献ができて、素晴らしい生徒がいる学校」というのが当たり前となるようみんなが「伊里中ブランド」を作り上げていきましょう。

よろしくお願いします。